



**2014年3月期 決算説明会
プレゼンテーション資料**

2014年5月27日

東証一部 証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 決算の概要

- 1. 決算概要(連結、個別) …P4
- 2. 損益計算書(連結、個別) …P6
- 3. 部門別の概況 …P8
- 4. 貸借対照表(連結、個別) …P13
- 5. キャッシュ・フロー(連結) …P17

II. 2014年3月期 業績見通し

- 1. 業績見通し(連結、個別) …P19
- 2. 配当 …P21

III. 中期経営計画の進捗

- 1. 中期経営計画について …P23
- 2. 中期経営計画の初年度実績 …P24
- 3. 成長戦略 ①資源・金属素材関連 …P25
- 成長戦略 ②産機・建機関連 …P26
- 成長戦略 ③環境設備関連 他 …P27

IV. 最近のトピックス …P28

- 1. 株主数の推移
- 2. HPの更新
- 3. 太陽光発電設備の設置

参考資料 …P30

・用語集

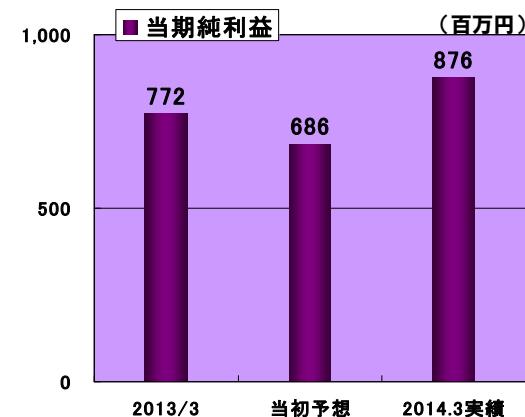
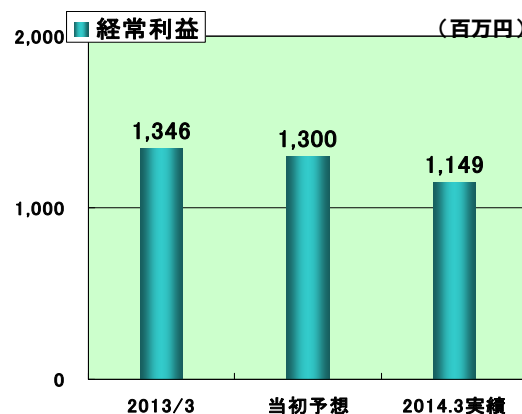
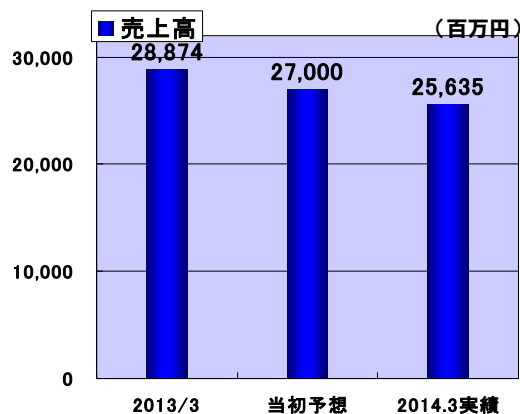


I. 決算の概要

1. 2014年3月期 ①決算概要

	2013.3	当初予想	2014.3実績
売上高	28,874	27,000	25,635
経常利益	1,346	1,300	1,149
当期純利益	772	686	876

(百万円)



● 期初予想

● 前期比で減収減益予想

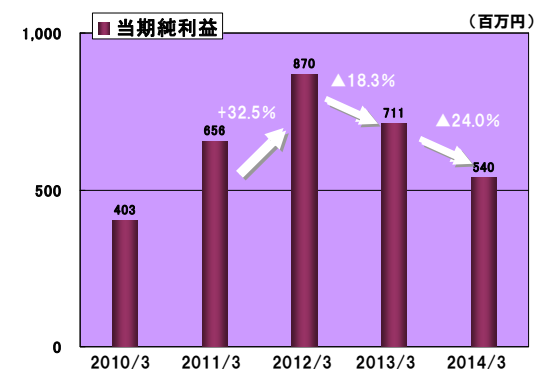
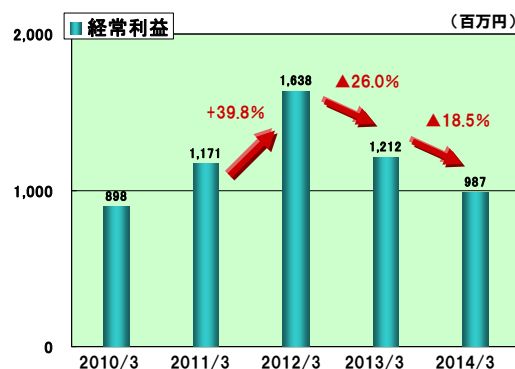
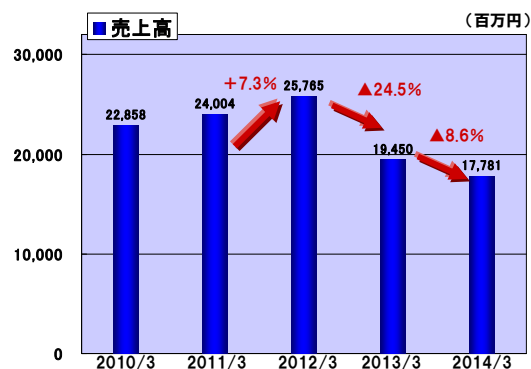
● 決算概要

- 売上高は予想を下回る 256億3千5百万円(前期比▲11.2%)
- 経常利益も予想を下回る 11億4千9百万円(前期比▲14.7%)
- 純利益は特別利益(負ののれん発生益)により、8億7千6百万円(前期比+13.5%)

1. 2014年3月期 ②決算概要(ラサ商事個別)

	2013.3	当初予想	2014.4実績
売上高	19,450	19,100	17,781
経常利益	1,212	1,150	987
当期純利益	711	638	540

(百万円)



● 期初予想

● 前期比で減収減益予想

● 決算概要

- 売上高は予想を下回る
- 経常利益も予想を下回る
- 純利益も予想を下回る

177億8千1百万円(前期比▲8.6%)
 9億8千7百万円(前期比▲18.5%)
 5億4千万円(前年比▲24.0%)

2. 2014年3月期 ①連結損益計算書

(単位:百万円・%)

	前期 (2013.3)		当期 (2014.3実績)		対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	28,874	100	25,635	100	▲3,239	▲11.2
資源・金属素材関連	10,655	36.9	8,603	33.5	▲2,052	▲19.2
産機・建機関連	7,263	25.2	7,829	30.5	566	7.9
環境設備関連	1,478	5.1	1,285	5.0	▲193	▲13.0
化成品関連	9,334	32.3	7,755	30.2	▲1,579	▲16.9
不動産賃貸関連	142	0.5	161	0.6	21	14.7
その他	-	-	-	-	-	-
売上総利益	4,476	15.5	4,107	16.0	▲369	▲8.3
販売費及び一般管理費	3,202	11.1	3,081	12.0	▲121	▲3.8
営業利益	1,273	4.4	1,025	4.0	▲248	▲19.5
営業外収支	73	0.3	123	0.5	50	69.3
経常利益	1,346	4.7	1,149	4.5	▲197	▲14.7
特別利益	14	0.0	245	1.0	230	1600.0
特別損失	27	0.1	82	0.3	55	201.7
税引前当期利益	1,333	4.6	1,311	5.1	▲22	▲1.7
当期純利益	772	2.7	876	3.4	104	13.5
1株当り当期純利益(円)	68.06		77.23		9.17	13.5
1株当り配当金(円)	15		15		0	0
配当性向(%)	22.0		19.4		▲2.6	▲11.8

2. 2014年3月期 ②個別(ラサ商事)の損益計算書

(単位:百万円・%)

	前期 (2013.3)		当期 (2014.3実績)		前年対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	19,450	100	17,781	100	▲1,669	▲8.6
資源・金属素材関連	10,655	54.8	8,603	48.4	▲2,052	▲19.3
産機・建機関連	7,263	37.3	7,829	44.0	566	7.8
環境設備関連	1,478	7.6	1,285	7.2	▲193	▲13.1
化成品関連	-	-	-	-	-	-
不動産賃貸関連	53	0.3	63	0.4	10	18.6
売上総利益	4,046	20.8	3,689	20.7	▲356	▲8.8
販売費及び一般管理費	2,859	14.7	2,782	15.7	▲76	▲2.7
営業利益	1,186	6.1	906	5.1	▲280	▲23.6
営業外収支	25	0.1	81	0.5	55	216.0
経常利益	1,212	6.2	987	5.6	▲224	▲18.5
特別利益	14	0.1	11	0.1	▲2	▲20.8
特別損失	7	0.0	73	0.4	66	850.7
税引前当期利益	1,218	6.3	925	5.2	▲293	▲24.1
当期純利益	711	3.7	540	3.0	▲170	▲24.0
1株当り当期純利益(円)	62.41		47.39		▲15.0	▲24.1

3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 主力のジルコンサンドの売上は大幅減少
- 輸入原料、金属シリコンは売上増加
- 価格低迷で利益率も大幅ダウン

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2012.3)	前期 (2013.3)	当期 (2014.3)	前期との差 (%)	前々期 (2012.3)	前期 (2013.3)	当期 (2014.3)	前期との差 (%)
フェロニッケル	6,163	0	0	0	6,163	0	0	0
ジルコンサンド	4,982	4,633	3,034	▲1,599 (▲34.5)	5,067	4,388	3,036	▲1,351 (▲30.8)
チタン原料	1,768	2,783	1,500	▲1,282 (▲46.1)	1,747	2,813	1,474	▲1,338 (▲47.6)
輸入原料	1,212	959	1,305	345 (36.0)	1,208	1,125	1,199	73 (6.6)
金属シリコン	1,203	1,706	2,104	397 (23.3)	1,307	1,615	2,182	567 (35.2)
クローラークレーン	181	168	193	24 (14.4)	182	152	209	57 (37.7)
その他商品	521	403	466	62 (15.4)	524	399	468	69 (17.3)
合計	16,034	10,655	8,603	▲2,052 (▲19.3)	16,202	10,494	8,572	▲1,922 (▲18.3)
粗利益率	6.86	6.12	4.34		6.63	6.16	4.30	

3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産機、建機共に売上は増加
- シールド掘進機は前期比+473百万円(+43.3%)
- 受注高は前期比▲4.4% 本格的設備投資はもう少し先の見込み

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2012.3)	前期 (2013.3)	当期 (2014.3)	前期との差 (%)	前々期 (2012.3)	前期 (2013.3)	当期 (2014.3)	前期との差 (%)
ワーマンポンプ	3,397	2,990	3,148	157 (5.3%)	3,309	3,245	3,026	▲218 (▲6.7)
ヒドロスタルポンプ	1,442	1,557	1,406	▲151 (▲9.7)	1,470	1,551	1,340	▲210 (▲13.6)
その他ポンプ	504	468	455	▲12 (▲2.6)	491	431	473	41 (9.6)
その他産業機械	962	839	958	118 (14.1)	980	780	997	216 (27.8)
産業機械 計	6,306	5,856	5,969	112 (1.9)	6,251	6,009	5,837	▲171 (▲2.9)
シールド掘進機	973	1,091	1,565	473 (43.3)	774	1,370	1,228	▲142 (▲10.4)
その他建設機械	466	314	295	▲19 (▲6.1)	463	319	292	▲26 (▲8.3)
建設機械 計	1,439	1,406	1,860	454 (32.3)	1,237	1,690	1,520	▲169 (▲10.0)
合計	7,746	7,263	7,829	566 (7.8)	7,489	7,699	7,358	▲340 (▲4.4)

3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備(ラサシステム)の大型案件の売上がなく減収
- 受注高は前期比+426百万円(38.2%)と上向き
- 本格的な設備投資はもう少し先の見込み

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2012.3)	前期 (2013.3)	当期 (2014.3)	前期との 差(%)	前々期 (2012.3)	前期 (2013.3)	当期 (2014.3)	前期との 差(%)
水砕スラグ製造設備	1,070	735	483	▲252 (▲34.3%)	454	377	577	200 (53.0%)
ブツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	584	550	549	▲0 (▲0.1%)	604	521	713	191 (36.8%)
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	309	192	251	59 (30.9%)	310	218	253	34 (16.0%)
合 計	1,964	1,478	1,285	▲193 (▲13.1%)	1,369	1,117	1,544	426 (38.2%)

3. 部門別の概況 ④化成品関連

- イズミの担うセグメント
- 安定した商品、顧客により堅調に推移
- 取引先見直しにより売上は減少するも、利益への影響は軽微

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2013.3)	当期 (2014.3実績)	前期比	
			増減	増減率
化成品関連	9,334	7,755	▲1,579	▲16.9%

3. 部門別の概況 ⑤不動産賃貸関連

	売上高 (単位:百万円・%、連結調整あり)			
	前期 (2013.3)	当期 (2014.3実績)	前期比	
			増減	増減率
不動産賃貸関連	142	161	18	13.1
(内) ラサ	53	60	6	8.4
(内) イズミ	89	101	12	13.4

・RASA日本橋ビル

8	ラサ本社	
7	ラサ本社	
6	ラサ本社	
5	ラサ本社	
4	ラサ本社	イズミ本社
3	賃貸中(114坪)	
2	賃貸中(102坪)	
1	賃貸中(37坪)	
合計(253坪) (その他 イズミ隣地駐車場)		

・イズミ本社ビル

9	内定(33坪)
8	募集中(検討先あり)(55坪)
7	賃貸中(66坪)
6	賃貸中(66坪)
5	賃貸中(66坪)
4	賃貸中(66坪)
3	賃貸中(66坪)
2	賃貸中(60坪)
1	賃貸中(34坪)
B1	賃貸中(48坪)
合計(560坪) (その他 八潮、上尾駐車場2カ所)	

2013.8
移転

イズミ(株)は昨年ラサ本社へ移転
旧日本の8, 9階は賃貸
(9階内定、8階も検討先あり)

4. 連結貸借対照表 ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2013.3)		当期末 (2013.4)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	16,466	65.18	14,882	62.6	▲1,584	▲9.6
現金及び預金	2,122		1,929		▲192	▲9.1
受取手形及び売掛金	8,884		8,701		▲183	▲2.1
商品及び製品	4,997		4,040		▲957	▲19.2
その他	461		210		▲251	▲54.4
固定資産	8,797	34.8	8,905	37.4	107	1.2
有形固定資産	6,338	(25.1)	6,178	(26.0)	▲160	▲2.5
土地	4,730		4,667		▲63	▲1.3
建物及び構築物	1,524		1,430		▲94	▲6.2
その他	83		80		▲3	▲3.6
無形固定資産	210	(0.8)	198	(0.8)	▲11	▲5.6
投資その他資産	2,248	(8.9)	2,528	(10.6)	279	12.4
投資有価証券	1,479		1,647		167	11.3
その他	768		880		112	14.6
資産合計	25,264	100.00	23,787	100	▲1,476	▲5.8

4. 連結貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2013.3)		当期末 (2014.4)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	10,901	(43.1)	9,444	(39.7)	▲1,457	▲13.4
支払手形及び買掛金	4,856		4,753		▲103	▲2.1
短期借入金	3,740		2,600		▲1,140	▲30.5
1年内返済予定の長期借入金	357		477		120	33.9
1年内償還予定の社債	1,040		737		▲303	▲29.1
未払法人税等	403		351		▲51	▲12.9
その他	505		525		20	4.0
固定負債	4,290	(17.0)	3,704	(15.6)	▲585	▲13.7
社債	2,034		1,297		▲737	▲36.2
長期借入金	1,221		1,408		187	15.3
繰越税金負債	429		444		14	3.5
退職給付引当金	437		-		▲437	▲100.0
退職給付に係る負債	-		379		379	100.0
その他	167		174		7	4.4
負債合計	15,191	60.1	13,149	55.3	▲2,042	▲13.4
株主資本	9,752	(38.6)	10,501	(44.1)	749	7.7
その他の包括利益累計額	48		136		88	182.6
少数株主持分	271		-		▲271	▲100.0
純資産合計	10,072	39.9	10,638	44.7	566	5.6
負債純資産合計	25,264	100.0	23,787	100.0	▲1,476	▲5.8
自己資本比率(%)	38.8	-	44.7		5.9	15.2

4. 貸借対照表 ①資産の部(個別)

(単位:百万円・%)

	前期末 (2013.3)		当期末 (2014.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	13,521	66.5	12,194	63.8	▲1,327	▲9.8
現金及び預金	1,762		1,604		▲157	▲8.9
受取手形	1,771		1,463		▲308	▲17.4
売掛金	4,772		4,960		188	3.9
商品及び製品	4,926		3,981		▲945	▲19.2
その他	288		184		▲104	▲36.1
固定資産	6,806	33.5	6,920	36.2	114	1.7
有形固定資産	3,594	(17.7)	3,454	(18.1)	▲139	▲3.9
土地	2,375		2,313		▲62	▲2.6
建物	1,124		1,051		▲72	▲6.4
その他	94		89		▲5	▲5.3
無形固定資産	107	(0.5)	107	(0.6)	▲0	▲0
投資その他資産	3,105	(15.3)	3,358	(17.6)	253	8.2
投資有価証券	759		846		86	11.4
関係会社株式	1,595		1,649		53	3.7
保険積立金	506		671		164	32.5
その他	245		191		▲54	▲22.0
資産合計	20,328	100	19,114	100	▲1,214	▲6.0

4. 貸借対照表 ②負債・資本の部(個別)

(単位:百万円・%)

	前期末 (2013.3)		当期末 (2014.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	7,938	(39.0)	6,683	(35.0)	▲1,254	▲15.8
支払手形	2,019		1,667		▲352	▲17.4
買掛金	1,137		1,546		409	36.0
短期借入金	2,700		1,600		▲1,100	▲40.7
1年内返済長期借入金	243		353		109	44.8
1年内償還予定の社債	1,000		710		▲290	▲29.0
未払法人税等	403		340		▲62	▲15.6
その他	434		465		31	7.1
固定負債	3,072	(15.1)	2,613	(13.7)	▲459	▲14.9
社債	1,970		1,260		▲710	▲36.0
長期借入金	623		935		311	50.1
退職給付引当金	377		316		▲61	▲16.2
その他	102		102		0	0
負債合計	11,010	54.2	9,296	48.6	▲1,713	▲15.6
純資産合計	9,317	45.8	9,817	51.4	499	5.4
負債純資産合計	20,328	100.0	19,114	100.0	▲1,214	▲6.0
自己資本比率(%)	45.8	-	51.4	-	5.6	12.2

5. キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	前期 (2013.3)	当期 (2014.3)	当期の主要項目
営業キャッシュ・フロー	▲1,480	2,041	税金等調整前当期純利益 1,311 減価償却費 148 減損損失 72 負ののれん発生益 ▲233 たな卸資産の増減額(▲は増加) 956 法人税等の支払額 ▲399
投資キャッシュ・フロー	▲398	▲190	有形固定資産の取得による支出 ▲61 有形固定資産の売却による収入 49 保険積立金の積立による支出 ▲160
財務キャッシュ・フロー	1,949	▲2,044	短期借入金の純増減額(▲は減少) ▲1,140 長期借入による収入 700 長期借入金の返済による支出 ▲392 社債の償還による支出 ▲1,040 配当金の支払額 ▲170
換算差額	▲0	1	
増減	70	▲192	
期首残高	2,051	2,122	
期末残高	2,122	1,929	



II. 2015年3月期業績見通し

1. 業績見通し ①連結

- 売上高は増加するも、販管費増加の見込みで減益見通し。

(単位:百万円・%)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	25,635	27,000	1,365	5.3
資源・金属素材関連	8,603	10,320	1,717	20.0
産機・建機関連	7,829	7,610	▲219	▲2.8
環境設備関連	1,285	1,500	215	16.7
化成品関連	7,755	7,380	▲375	▲4.8
不動産賃貸関連	161	190	29	18.0
売上総利益	4,107	4,230	123	3.0
販売費及び一般管理費	3,081	3,230	149	4.8
営業利益	1,025	1,000	▲25	▲2.5
経常利益	1,149	1,100	▲49	▲4.3
当期純利益	876	660	▲216	▲24.7
1株当り当期純利益(円)	77.23	57.65	▲19.58	▲25.4

1. 業績見通し ②個別(ラサ商事)

- 売上高は増加、販管費増加の見込みで営業利益、経常利益はマイナス予想
当期純利益は3.6%の増益見込み

(単位:百万円・%)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	17,781	19,500	1,719	9.7
資源・金属素材関連	8,603	10,320	1,717	20.0
産機・建機関連	7,829	7,610	▲219	▲2.8
環境設備関連	1,285	1,500	215	16.7
化成品関連	-	-	-	-
不動産賃貸関連	63	70	7	11.1
売上総利益	3,689	3,800	111	3.0
販売費及び一般管理費	2,782	2,900	118	4.2
営業利益	906	900	▲6	▲0.7
経常利益	987	950	▲37	▲3.9
当期純利益	540	560	20	3.6
1株当り当期純利益(円)	47.39	48.65	1.26	2.7

2. 配当

- **前期実績 15円**
【中間】 7.5円 【期末】 7.5円
- **今期予想 15円**
【中間】 7.5円 【期末】 7.5円

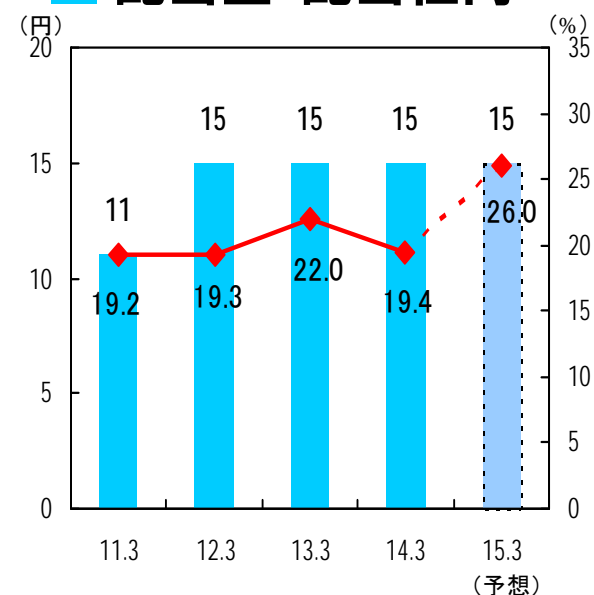
● 配当方針

- 安定配当を行なうこと
- 配当性向20%前後を維持すること

【前期実績】 19.4%

【今期予想】 26.0%

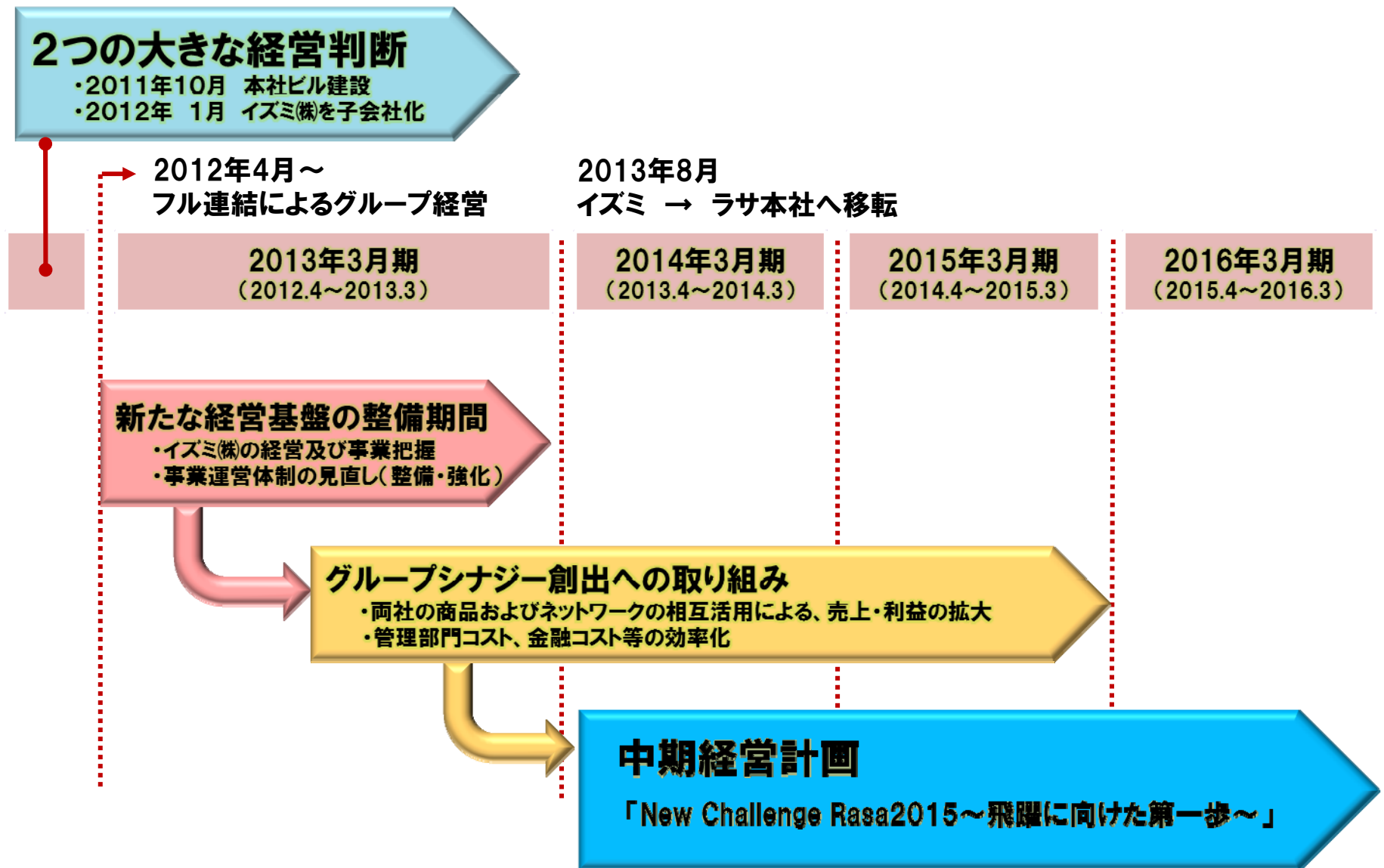
■ 配当金・配当性向





III. 中期経営計画の進捗

1. 中期経営計画について



2. 中期経営計画の初年度実績

● 経営指標

① 総資産経常利益率 (ROA) は10%以上

② 自己資本比率は50%以上

③ 自己資本当期純利益率 (ROE) は12%以上

2014.3実績

(4.69%)

(44.72%)

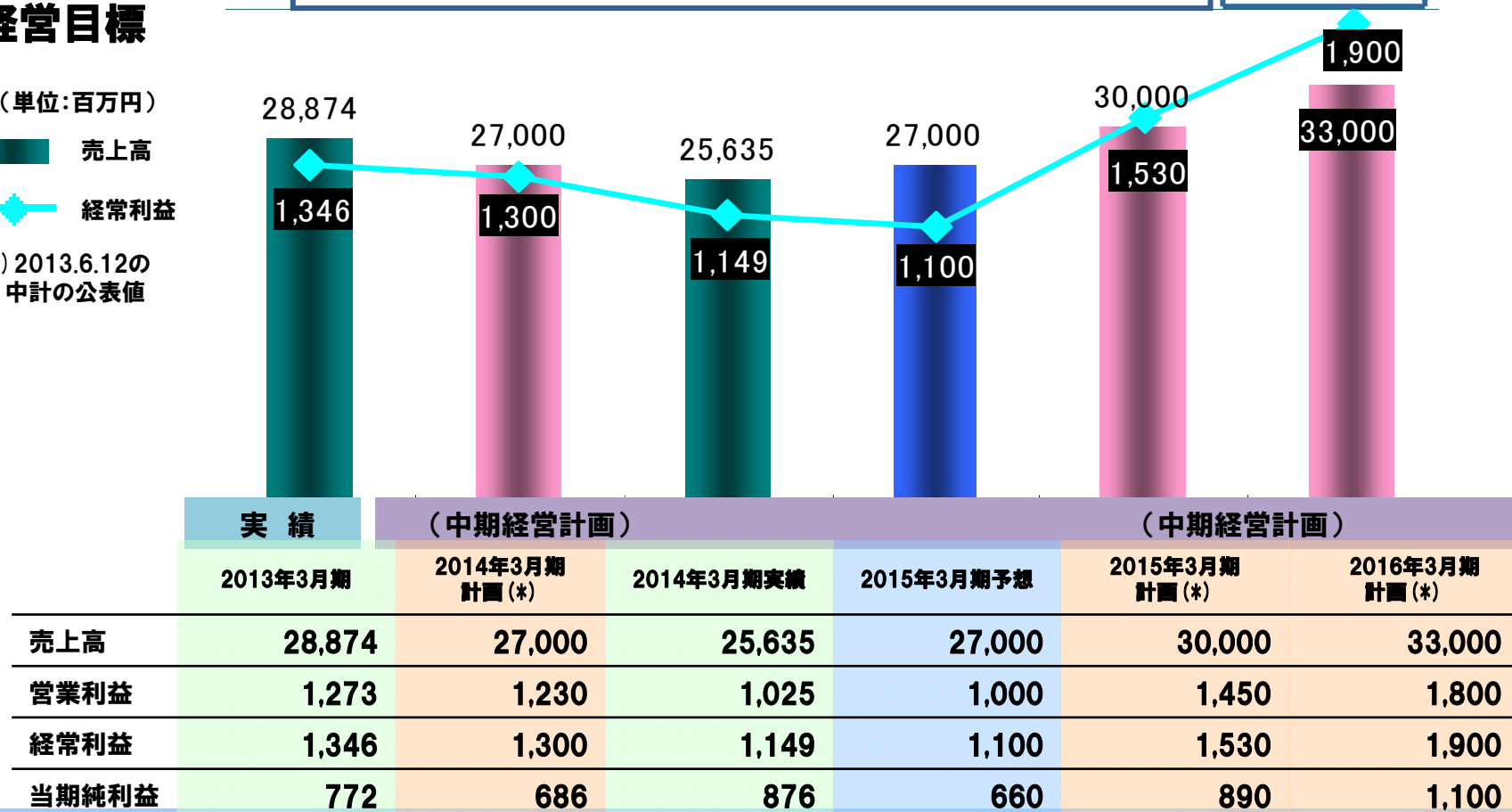
(8.58%)

● 経営目標

(単位:百万円)

■ 売上高
◆ 経常利益

(*) 2013.6.12の
中計の公表値



3. 成長戦略 ①資源・金属素材関連

★ 既存事業の深堀りと事業進化

- ジルコンサンドの加工等による製品の多様化
- 金属シリコンの海外拡販

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- エネルギー用途原料への注力
- 中国から東南アジア諸国、インドへの市場拡大



▲ジルコンサンド



▲金属シリコン



▲鱗状黒鉛

3. 成長戦略 ②産機・建機関連

★ 既存事業の深掘りと事業進化

- 更新需要の喚起とメンテナンスサービス体制の一層の充実

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 石炭火力発電関連分野へ注力
- 下水道BCP(津波、高潮、豪雨)対応の汚泥ポンプの開発
- 機能性材製造業向に注力
- バイオマス、バイオガス分野への注力

■ 今後の展開

- CCT (Clean Coal Technology)【クリーンコールテクノロジー】
石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術
- 機能性材料
材料の種類を大きく二つに分けると、その強度を利用する構造的な材料と機能を利用する機能性材料に分けることができます。前者は建物や乗物その他を構築する上で必要であり、後者は触媒、センサー、エネルギー変換等で必要とされます。



▲ワーマンポンプ

3. 成長戦略 ③環境設備関連

★ 既存事業の深堀りと事業進化

- 既存ラサ・システム導入先に対する提案・販売の積極化
(自動運転、省エネ運転、ランニングコスト低減商品など)

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 石炭ガス複合発電(IGCC・IGFC)スラグ処理へのラサ・システムの販売
- 非鉄製錬ユーザーに対するラサ・システムの販売

■ 今後の展開

● 水砕スラグ製造設備

製鉄所の高炉の付帯設備。

製鉄業界では「ラサシステム」として世界的に知られている。

製鉄造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」をセメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所において不可欠な設備となっている。

● IGCC

「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。

従来の石炭火力発電よりも発電効率が高く、石炭を燃料とする発電方式の中ではCO₂の排出量が最も少ない発電方式。

水砕スラグ製造設備





IV. 最近のトピックス

最近のトピックス

①株主数の増加

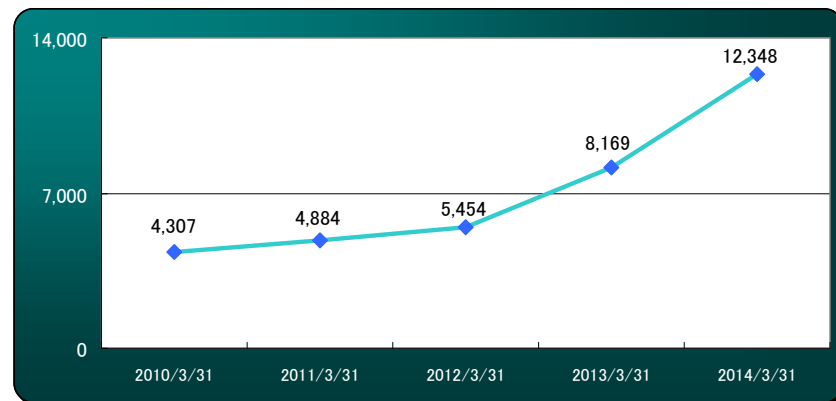
②HPの更新

●スラリーポンプの専用ページの開設、採用ページの充実など

③千葉機械センターの屋根に太陽光発電設備を設置 (写真)

(株主数の推移)

2010/3/31	2011/3/31	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31
4,307	4,884	5,454	8,169	12,348



2014年3月期 決算説明会



参考資料

1. 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。 「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP(プラズマディスプレイパネル)の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。 自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で熔融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。 「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。 液晶やプラズマディスプレイガラスの熔融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

2. 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。 磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。 また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、 その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、 製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

3. 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。
IGCC	石炭ガス化複合発電。 「 I ntegrated coal G asification C ombined C ycle」の略。 石炭をガス化して得られる高温ガスをガスタービン燃料として発電すると同時に、石炭ガス化炉で得られる蒸気とガスタービンの排熱を回収して得られる蒸気を用いて蒸気タービンでも発電を行う高効率の複合発電技術。 IGCCでは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせることによって高い熱効率が達成される。
IGFC	石炭ガス化燃料電池複合発電。 「 I ntegrated coal G asification F uel C ell combined cycle」の略。 石炭をガス化して得られるガス化燃料を利用し、燃料電池、ガスタービン、蒸気タービンの3種類の発電形態を組み合わせた、トリプル複合発電を行う高効率発電技術。実現すれば55%以上の送電端効率が可能となり、既存の微粉炭火力に比べてCO2排出量を約30%低減することが見込まれる。
CCT	クリーンコールテクノロジー 「 C lean C oal T echnology」の略。 石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術。

4. 化成品関連

用語	内容
塩ビコンパウンド	<p>「ポリ塩化ビニルコンパウンド」の略。</p> <p>「ポリ塩化ビニル」は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンとともに四大プラスチックの一つ。</p> <p>「コンパウンド」は、英語の「compound」で、「混ぜ合わせる」の意。</p> <p>自動車の内外装部品、建材、電線のシース材などに幅広く使用されており、イズミ(株)の主力商品の一つである。</p>
KES	<p>「環境マネジメントシステム」の規格。</p> <p>「Kyoto Environmental Management System Standard」の略。</p> <p>環境マネジメントシステムとしては、ISO14001が最も有名であるが、これと同様にKESは「グリーン調達」として、取得企業に対する優遇制度がある規格である。</p> <p>イズミ(株)は2009年5月にこの規格を取得した。</p>